

# 3 開催決定までの経緯と推進体制

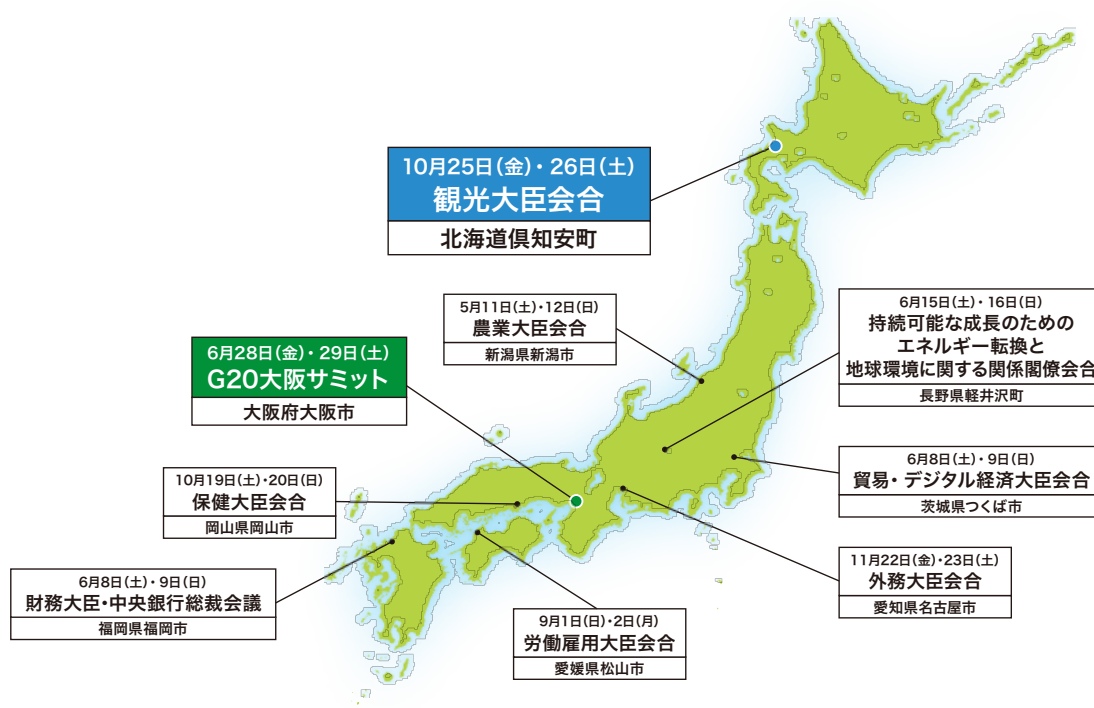
## (1) 誘致から決定まで

平成20年(2008年)7月4日の閣議了解により、国として国際会議等の北海道開催の推進に取り組んでいくことが示され、同年7月に開催された北海道洞爺湖サミットでは、豊かな自然に恵まれた北海道を舞台に、安全で静穏な環境のもと実り多い議論が行われ、様々なメディアを通じ「北海道」の名は世界に広まった。同サミット以降も、官民協働によるオール北海道で国際会議等の誘致活動に取り組むことにより、平成21年(2009年)5月には第5回日本・太平洋諸島フォーラム首脳会議(通称:太平洋・島サミット)が占冠村で開催され、平成22年(2010年)6月には日本APEC貿易担当大臣会合が札幌市で開催されるなど、全道各地で様々な国際会議が開催されてきた。

こうした中、平成29年(2017年)7月8日に、2019年開催のG20サミット及び関係閣僚会議の日本開催が決定したことにより、同年9月21日に倶知安町から道に対して関係閣僚会議誘致への協力依頼が行われ、これを受けて同年11月13日に道は倶知安町の誘致計画案を外務省に進達した。その後、道、倶知安町、北海道観光振興機構の3者連名による「2019年G20関係閣僚会議の誘致に関する要望書」を、平成30年(2018年)2月中下旬に北海道選出国議員や北海道議会議員の同席のもと、官房長官、国土交通大臣、外務大臣政務官に提出したほか、3月1日に内閣総理大臣に提出するなど、積極的に観光分野における関係閣僚会議の誘致活動を展開した。

その結果、平成30年(2018年)4月2日に政府より、2019年に大阪で開催するG20サミットを明年6月28日及び29日に開催するとともに、日本国がG20議長国として開催する関係閣僚会合及びその開催地のひとつとして、G20観光大臣会合を倶知安町で開催することが発表された。

また、G20観光大臣会合の開催日程については、平成30年(2018年)7月20日に観光庁より、明年10月25日、26日にニセコHANAZONOリゾートで開催することが発表された。



## (2) 推進体制

G20観光大臣会合の倶知安開催の決定を受け、会合開催の受入体制の整備をはじめ、北海道の魅力の発信やおもてなしをオール北海道で行うため、平成30年(2018年)6月28日に、道内経済界・産業界、地元関係団体など道内17団体で構成する「G20観光大臣会合推進会議」(会長:北海道知事、副会長:倶知安町長)を設立した。同時に、北海道議会議長、後志町村議会議長会会長、倶知安町議会議長、北海道総合通信局長、北海道経済産業局長、北海道開発局長、北海道運輸局長の7名の方々に顧問にご就任いただき、様々な観点からご助言をいただくこととした。

その後、推進会議に設置した幹事会における協議を踏まえ、平成30年(2018年)10月30日に開催した第2回総会において、推進会議を「G20観光大臣会合実行委員会」(会長:北海道知事、副会長:倶知安町長、監事:北海道経済連合会会長)に移行すること、並びに「G20観光大臣会合推進事業計画」を全会一致で決定した。

### 【G20観光大臣会合実行委員会構成員】

#### ● 委員

所 属	職 名	備 考
北海道	知 事	会 長
倶知安町	町 長	副 会 長
北海道市長会	会 長	
北海道町村会	会 長	
北海道経済連合会	会 長	監 事
北海道経済同友会	代表幹事	
(一社)北海道商工会議所連合会	会 頭	
北海道商工会連合会	会 長	
(公社)北海道観光振興機構	会 長	
北海道農業協同組合中央会	会 長	
ホクレン農業協同組合連合会	会 長	
北海道漁業協同組合連合会	会 長	
北海道木材産業協同組合連合会	会 長	
倶知安町G20観光大臣会合推進町民会議	会 長	
後志町村会	会 長	
後志観光連盟	会 長	
G20MTM学生サポーターズ	代表発起人	
日本貿易振興機構 北海道貿易情報センター	所 長	

## ● 顧問

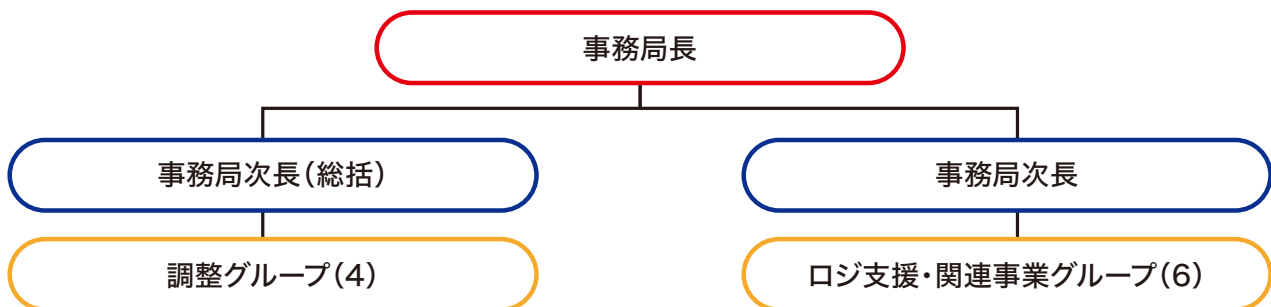
所 属	職 名	備 考
北海道議会	議 長	
後志町村議会議長会	会 長	
倶知安町議会	議 長	
北海道総合通信局	局 長	
北海道経済産業局	局 長	
北海道開発局	局 長	
北海道運輸局	局 長	



実行委員会設立総会(平成30年(2018年)10月)

実行委員会の事務局については、北海道総合政策部国際局国際課に設置し、道職員が事務局職員となって、開催に向けた準備をスタートした。

## 【事務局体制(令和元年(2019年)7月3日現在)】



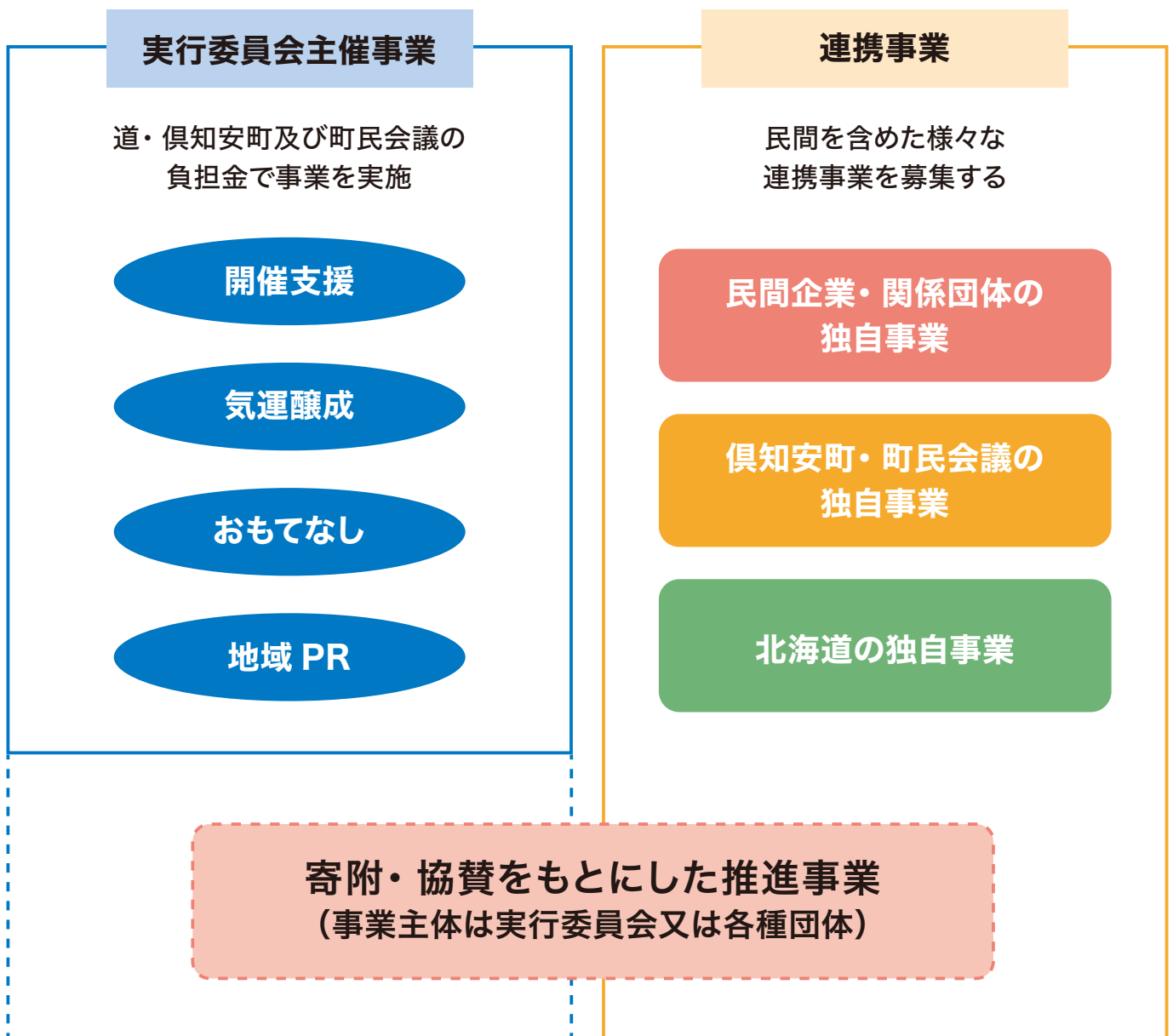
※括弧内の数字は職員数

※調整グループのうち2名は後志総合振興局に在勤

### (3) 推進事業計画

実行委員会が決定した推進事業計画では、実行委員会主催事業として、①開催支援、②気運醸成、③おもてなし、④地域PRの4つの柱に沿った事業を実施することとした。これらの事業を実施するための全体事業費を9,100万円とし、道が5,400万円、倶知安町が2,700万円を負担金として拠出するとともに、1,000万円を目標に民間からの寄附・協賛を募ることとした。また、G20観光大臣会合に合わせて民間企業や団体が実施する様々な事業を連携事業として募集することとした。

#### 【推進事業計画の構成】



## 【実行委員会主催事業】

区 分	内 容	主 な 事 業
開催支援	会合開催に係る受入体制の整備を行うとともに、会合の円滑な開催を支援する	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 受入体制の整備 警備体制、消防救急体制、医療体制、保健衛生管理に関する関係機関と連携など</li> <li>● 会合開催支援 リエゾンの調整、ボランティアの調整など</li> </ul>
気運醸成	会合の開催を幅広く道民に周知をして、開催気運の盛り上げを図る	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 事前広報 ポスター、パンフレット・リーフレットの作成など</li> <li>● 気運醸成イベント カウントダウンモニュメントの除幕式、講演会・シンポジウム・パネル展等の開催、学生サミットの開催など</li> </ul>
おもてなし	会合で来道する各国の大臣等をオール北海道で歓迎する	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地元での歓迎行事 空港歓迎行事、地域主催歓迎レセプションの開催、記念品贈呈など</li> </ul>
地域PR	会合に参加する各国の政府関係者、観光関係団体や報道関係者等に「食」や「観光」など本道の様々な魅力を発信する	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 会合参加者向けPR事業 エクスクーショの実施、プレスツアーの実施、情報発信ブースの設置など</li> <li>● 会合の開催に合わせたPR事業 食のPRイベントの実施、英字新聞での特集など</li> </ul>

## 【事業費(予算額)】

項 目	予 算 額 (千円)
(1)道負担金	54,000
(2)倶知安町負担金	27,000
(3)民間からの寄附・協賛	(目標額)10,000
合 計	91,000